



## CONTENTS

- ◆後援会会長あいさつ ······ 1
- ◆教育学部長あいさつ ······ 2
- ◆学部からのお知らせ ······ 3
- ◆学生の年間スケジュール紹介 ··· 4
- ◆卒業生の声 ······ 8
- ◆後援会活動の概要 ······ 10
- ◆後援会役員名簿 ······ 11
- ◆学生支援事業のお知らせ ······ 12



**たくさんの体験や活動を通して、  
あたたかい心を育んでください**

後援会会長 内田 浩文

新入生並びに保護者の皆様には、ご入学を心よりお祝い申し上げます。あわせて保護者の方におかれましては、島根大学教育学部後援会の会員となられましたことを歓迎申し上げます。また、会員の皆様には、日頃より後援会活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。本年度、会長を務めさせていただきます内田と申します。皆様のお力をお借りし、責務を果たして参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

本後援会は、「島根大学教育学部の発展充実に寄与し、在学生の教育に関し、学部に協力すること」を目的に、昭和27年に学生を支える仕組みとして活動が始まり、今日まで、学部関係者をはじめ諸先輩方のご尽力により、学生の皆さんのが充実した大学生活を送ることができるよう、さまざまな支援と学部内外の教育環境整備事業の取り組みを続けております。

さて、本学部は「山陰地域で唯一の教員養成に特化した学部」として、多くの優秀な学生を学校現場に送り出しています。彼らの優れたスキルを支えている取り組みの一つとして「1000時間体験学修」が挙げられます。全国で唯一の実践型学修で、地域や学校に赴き、住民や子どもたちとふれあい・かかわりながら「教員として必要な社会性や豊かな人間性を育成」する

先進的な取り組みです。この学修の成果は、「卒業生の声」でもお伝えしている通り、教員を目指す学生の大きな自信となっています。近年、教育現場を取り巻く課題として、教員志望者の減少、大きな改善を必要とする長時間労働、子どもたちの価値観の多様化などが各メディアから報道されています。しかし、人を教え育成することは困難も伴いますが、子どもたちと信頼関係を築き、その成長を見守ることは教員にしかできないとても素晴らしい実践です。ご承知のとおり、5月8日に、新型コロナウィルスの感染症法上の位置づけが変わりました。行動制限が大きく緩和され、学生の皆さんの活動も多方面に広がっていくことが予想されます。学生の皆さんのが視野を広げ、人として大きく成長し、心豊かな感受性を醸成していくうえで、たくさんの体験や活動が欠かせません。それを積極的に後押ししているのが本学部であり、そして、仲間たちと大いに語らい、交流を深め、有意義な学生生活を送っていただくことを応援することが本後援会の大切な役割です。

会員の皆様には、今後も本後援会の活動にご理解を賜り、学生生活が実り多きものとなりますよう、ご助言ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



# 令和の日本型教育を先導する 学部教育を目指して

教育学部長 河添達也

令和5年度入学生の保護者の皆様方、ご入学おめでとうございます。教育課題が山積する中、教職への第一歩として島根大学教育学部にご入学いただいたことを、心からうれしく思います。また、教育学部後援会の皆様方におかれましては、平素から本学部の教育・研究活動、ならびに就職支援活動等に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

不自由な生活を余儀なくされたコロナ禍も、3年余りの時を経てようやく5類移行となり、大学生活も徐々に日常を取り戻しつつあります。入学式直後の教育学部新入生オリエンテーションでも、3年ぶりに140名全員が1つの教室に集い、輝く瞳を前に私たち教員もあらためて身が引き締まる想いでした。

さて、令和3年3月の文部科学大臣諮問を受け、昨年12月19日に中央教育審議会(中教審)が、答申「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修の在り方について~「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職集団の形成~」を公表しました。その中で、教師に求められる資質能力が以下の5項目に再整理されました。

- ①教職に必要な素養
- ②学習指導
- ③生徒指導
- ④特別な配慮や支援を必要とする子供への対応
- ⑤ICTや情報・教育データの利活用

そこで本学部でも、島根・鳥取両県教育委員会が定める教員育成指標との整合性を図りつつ、卒業時に身に

着けるべき資質・能力である「学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)」の見直しを行っています。また、理論と実践の往還を重視した教職課程への転換が求められる中、より充実した「1000時間体験学修」の在り方に向け、検討を開始しました。

教員採用試験実施時期の前倒しや、働き方改革への議論が国会内外でも急速に進んでおり、数年内に、教職を取り巻く状況は大きな変革期を迎えることになると思われます。

島根大学教育学部では、このような教職そのものの在り方や、教育課題の変化を見据え、先行的に様々な教育制度や体制の整備をおこなってきました。先述の1000時間体験活動はもとより、子どもの学びを俯瞰的に捉えることのできる小・中(高)免許併有型の主副専攻制、地域社会との連携を担う社会教育士養成特別プログラムの開設などです。また、学生の学びを可視化し定期的な個別指導を行うweb学修ポートフォリオ・システムや、学校教育実習を組織的にサポートする教育実習部の設置、ICTハンドブックの作成なども特筆できます。一昨年度、附属学校敷地内に敷設した「教育学部附属山陰教員研修センター」では、山陰両県の現職教員研修に学部生・院生も参画する協働的学修の運用も始まっています。

このような令和の日本型教育を担う教師の育成に向け、今後も教育学部の全教職員が一丸となって、学生教育に従事していく所存です。後援会の皆様方には、本学部における教育活動の趣旨をご理解いただき、ますますのご支援・ご協力を賜りますよう、重ねてお願ひ申し上げます。

# 教育学部・教職大学院 一貫プログラムが始まりました

令和4年度以降、同制度を利用して、教職大学院に6名が進学しました。

令和3年度から、教育学部・教職大学院一貫プログラムが始まりました。このプログラムは、学部卒業後に引き続き教職大学院への進学を希望する学生に対して、4年生のときから教職大学院の授業や各種行事に参加することができるなど、通常教職大学院に入学後2年間で学ぶ内容を3年間でじっくり学べるプログラムです。

## ■プログラムの内容

学部4年次に、以下の活動等を行うことができます。

- 1) 教職大学院で開講される共通科目の履修(4科目まで)ができます。(修得した単位は8単位まで教職大学院の修了に必要な単位として認定されます。)
- 2) 教職大学院の専任教員とともに、教職大学院で実施する地域教育課題研究に向けたゼミ活動を行います。
- 3) 教職大学院で行われる各種行事への参加(院生の研究成果発表会等に参加します。)
- 4) 教職大学院専任教員による教員採用試験対策の活動へ参加することができます。
- 5) 教職大学院専任教員からの卒業研究に関する指導をうけることができます。

## ■申請要件

3年次前期までに次の基準に達していることが必要です。

- ①教育学部の卒業要件単位のうち、96単位以上を習得していること。
- ②教育体験活動のうち、「学校教育実践研究Ⅱ」、「学校教育実習Ⅲ」、「学校教育実習Ⅳ」、「学校教育実習Ⅴ」の単位を修得見込みであること又は履修資格を有していること。
- ③GPAが3.0以上であること。

## ■申請・選考等(前年の12月頃に募集要項が発表されます。)

- (1) 申請受付期間: 2月後半頃に申請
- (2) 申請方法: 申請書、志望理由書、成績証明書を学生センター教育学部担当に提出
- (3) 選考方法: 3月初め頃に志望理由書、成績証明書の書類審査及び面接を実施
- (4) 発表日: 3月後半

## よくある質問 Q&A

### Q 教職大学院の入試を改めて受ける必要がありますか?

A 学部の卒業や教職大学院への入学は従来通りです。したがって、教職大学院の入試も受験していただきます。ただし、一貫プログラム履修生用の入試を行います。

### Q 教職大学院で就学中に教員採用試験に合格した場合、採用はどうなりますか?

A 入学前や1年生のときに合格した場合、島根県や鳥取県をはじめとするほとんどの県で大学院修了まで合格を維持したまま、採用を待ってもらえる制度があります。

### Q 教職大学院への進学時、入学料はかかりますか?

A 通常通り入学料を納めていただきますが、入学料と同額程度の奨学金が支給される予定ですので、実質的に入学料はかりかりません。

### Q 指導教員は学部と教職大学院で変わりますか?

A 基本的に学部の指導教員も、そのまま大学院の指導教員として対応できる体制をとっています。

### Q 途中でプログラムの履修をやめることはできますか?

A 一貫プログラムの中止願を提出することにより、本プログラムの履修を中止することができます。しかしながら、教職大学院修了までの3年間の学びを是非とも達成して欲しいと願っていますので、よく検討して申請してください。

## 入門期セミナー

## 《入門期セミナー》

初年次教育プログラムの一つであるセミナーです。1000時間体験学修プログラムを理解し、4年間の大学生活の見通しをもつことを主な目的としています。4年間を共に過ごす仲間や学生スタッフの先輩との関わりを通して、幅広い人間関係を築くことができます。1年生にとって、大学生活への期待がふくらむ有意義なセミナーです。



## 教育学部で学ぶこと

1年前期に開講される、専門教育科目の基盤となる科目です。文献検索やレポート作成など、大学生としての基礎的なアカデミック・スキルを身につけるとともに、授業観察や授業協議など、教育学部生に必要となる技術を身につけています。また現代的教育課題についての理解に基づいて、自らの進路に応じた履修モデルを構想します。

## 大学祭

松江キャンパスでは「淞風(しょうふう)祭」という名称で毎年10月に開催されています。



## 基礎体験交流会

1・2年生を対象とした基礎体験の意見交換会です。先輩や他専攻生の話を聞き、今後の各自の基礎体験活動の充実を図ります。

◎◎学部(大学)行事等 ★Web入力(必須)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◎入学式・オリエンテーション ◎入門期セミナー		◎地域理解セミナー			◎主専攻決定 ◎スタートアップセミナー	◎大学祭		◎介護等体験登録締切	◎介護等体験説明会	◎基礎体験交流会	
◎専攻決定ガイダンス ◎一般教養からだめし ★教職志向性調査					◎在学生ガイダンス ◎副専攻仮決定(年度末に決定)					◎副専攻決定	
◎学校教育実習I ◎基礎体験合同説明会 ◎基礎体験活動開始		◎学校教育実践研究I									

学校教育実習 I  
教職志向・進路調査

附属幼稚園・附属義務教育学校で3日間、午前中は授業観察を行い、午後は大学で観察のまとめと振り返りを行います。(前期・20時間)

基礎体験活動開始  
(1000時間体験学修プログラム)

必修の100時間(基礎体験セミナー・介護等体験など)と選択の540時間の時間認定が必要です。選択の活動では、地域のイベントや社会教育施設の活動、小・中学校での学習支援など、多様な活動に参加できます。



## 学校教育実践研究 I

学校教育実習Iと連動して開講されるコア授業科目です。大学4年間の学びにおける教育実習の位置づけを理解するとともに、「教わる側」から「教える側」への視点の転換を図ります。また、学校教育実習の期間中には、自ら作成した授業(保育)記録に基づいて建設的な授業協議を行うための基礎的な技能を身につけます。(前期・20時間)



## 地域理解セミナー

これから本格的に基礎体験活動を始める1年生対象の基礎体験セミナーです。地域における学校現場以外での教育活動について理解を深めたり、基礎体験活動におけるルールやマナーについて確認したりして、安心して活動に取り組むことができるためのセミナーです。

## スタートアップセミナー

入学時からの基礎体験活動の取組を振り返る基礎体験セミナーです。体験時間の確認、活動参加への心構えや手続きの再確認を行います。また、小グループに分かれて体験発表会などを行い、今後の活動をさらに充実させていくためのセミナーです。



## 学校教育実習Ⅱ

主専攻ごとに教育実習を行います。附属学校園で行う教科指導を中心とした観察実習です。主専攻に対応する校種・教科の授業参観・授業協議を行い、ポートフォリオを作成するとともに模擬授業演習等を行うことによって授業設計の基礎を培います。(通年・20時間)



## 充実期セミナー

2年生を対象に開催される基礎体験セミナーです。各自の取組の傾向をもとにしたグループでの活動を通して成果や課題を明らかにすることを目的としています。また、学内資格を取得している先輩からのアドバイスを受けることもできます。



## 教師力パワーアップセミナー

教師力パワーアップセミナーは教員採用試験への対策や教職をより深く理解するための取組です。2年生から参加できます。教員採用試験の合格者や現役教員である先輩との交流会もあります。



◎学部(大学)行事等 ★Web入力(必須)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◎在学生ガイダンス					◎充実期セミナー			◎教員採用試験合格者 体験報告会		◎基礎体験交流会	
◎健康診断					◎学修ポートフォリオ(LP)作成説明					◎教師力 パワーアップ セミナー	
◎介護等体験事前指導					★LP入力	★LPまとめ					
★教職志向性調査					★教職志向性調査		◎C系・G系				◎LP提出締切
◎学校教育実習Ⅱ					◎在学生ガイダンス						
◎介護等体験											

## 学修ポートフォリオ(LP)

大学での学びの状況は、履修単位の成績評価だけで計ることのできない広がりをもっています。「学修ポートフォリオ(LP)」は、そのような学生一人ひとりの学びの成果と軌跡を記録する「カルテ」です。「学修ポートフォリオ」の作成は、4年間で3回、大学生活の節目の場面で行います。その目的は、教師に必要な能力の総体である「10の教師力」の修得状況を、複数の評価視点(自己評価、他者評価、客観的評価)からレーダーチャートや言語による可視化をすることにより、学びの状況とこれからの目標を確認することにあります。数値だけでなく、ポートフォリオを仲介とした指導教員と学生のコミュニケーションを大切にしています。

学校教育体験領域における実習で、1000時間体験学修の体験時間としてカウントされます。2年生の後期と3年生の前期に開講され、半期毎にどちらかを受講することになります。C系は個人(子ども・保護者)に対する支援(Counseling)を想定した実習で、相談場面のロールプレイを通して、よりよい聴き方や相手の気持ちに添う関わり方にについて学びます。G系は学級集団形成など集団における支援(Group approach)を想定した実習で、自分や相手の特性に関する気づきを促すグループ活動を通じて、よりよい学級集団づくりの技能を学びます。  
(2年後期・3年前期 各20時間)



## C系・G系

特別支援学校及び社会福祉施設(老人ホーム等)で、あわせて7日間の体験を行います。

〈内訳〉

- 島根県又は鳥取県内の特別支援学校での体験(2日間)  
(例)授業の補助、学校行事等校務全般にわたる補助の体験等
- 島根県内の社会福祉施設(老人ホーム等)での体験(5日間)  
(例)介護・介助、障がい者等の話し相手や散歩の付添い等の交流の体験、掃除や洗濯等受け入れ施設の職員に必要とされる業務補助の体験等

## ○Check○

- ◆3年生で行う実習Ⅲを履修するためには、2年生終了時までに別途定められた履修資格を満たしている必要があります。

## 介護等体験

# 3年

## 学生の年間スケジュール紹介

### 学校教育実践研究Ⅱ

学校教育実習Ⅲ・Ⅳと連動して開講されるコア授業科目です。主専攻に対応する校種・教科の授業実践に焦点化し、授業分析や教材研究、学習者理解を基本とした教材制作のトレーニング、学習指導案作成と模擬授業を行います。また事後指導では、自らの実習を深化・発展させるための振り返りを行います。(通年・40時間)



### 学校教育実習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ

#### ●学校教育実習Ⅲ（前期・40時間・1単位）

主専攻に対応した教育実習です。附属学校の授業観察を通して、授業を「教師と学習者のコミュニケーションの総体」として把握し、学校教育実習Ⅳに必要な授業実践力の基礎を培います。

#### ●学校教育実習Ⅳ（後期・120時間・4単位）

主専攻に対応し、授業実践に主軸を置いた教育実習です。教科指導をはじめ、学習集団の形成や学級経営に係る実践的トレーニングを行い、教職へのより深い理解と基礎的な実践力の育成を図ります。

#### ●学校教育実習Ⅴ（後期・40時間・1単位）

副専攻の校種・教科に対応した観察実習主体の教育実習です。学齢期にある子どもの「成長」、「発達」をより長いスパンから捉え、子ども理解を深めます。



◎学部(大学)行事等 ★Web入力(必須)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実習				◎学校教育実践研究Ⅱ								
					◎学校教育実習Ⅲ		◎学校教育実習Ⅳ		◎学校教育実習Ⅴ			
				◎スクール・インターンシップ 説明会		◎スクール・インターンシップ 合同事前指導		◎スクール・インターンシップ				
講義・その他	◎在学生ガイダンス	◎健康診断			◎在学生ガイダンス			◎学修ポートフォリオ(LP)作成説明会				
	★教職志向性調査					★LP入力		◎応用期セミナー ★LPまとめ				
		◎C系・G系					◎教員採用試験スタートガイド	◎教員採用試験スタートガイド				
							★教職志向性調査					
								◎教師力パワーアップセミナー				

#### スクール・インターンシップ

3年生の後期は実習セメスターとなっています。この期間に教育実習Ⅳ・Ⅴを行いますが、実習を行わない期間を活用してスクール・インターンシップを行います。公立小中学校を中心とした教育体験を通して、教育実習との学外教育体験を往復させることによって、より幅広い教師力を身につけることが期待できます。



#### 応用期セミナー

3年生対象の基礎体験セミナーです。スクール・インターンシップ及び教育実習での活動を振り返り、今後の大学生活を展望するとともに、進路決定に向けての自己啓発を促す時間とします。学外体験活動や教育実習での学びの発表会や進路希望別グループでの協議を行います。



#### 教師力パワーアップセミナー

教師力パワーアップセミナーは教員採用試験への対策や教職をより深く理解するための取組みです。教員採用試験の面接対策や卒業後の教員生活で直面する問題を解決するセミナーです。



4年

# 学生の年間スケジュール紹介

## 学校教育実習Ⅵ 幼稚園教育実習 特別支援教育実習

それぞれの教職志向に対応し、主体的に選択する学校教育実習科目です。取得したい免許状に基づき、学校教育実習Ⅵ、幼稚園教育実習、特別支援教育実習のいずれかを選択します。

学校教育実習Ⅵ(前期・40時間・1単位)[選択]  
幼稚園教育実習(前期・80時間・2単位)[選択]  
特別支援教育実習(前期・後期・80時間・2単位)[選択]

## 発展期セミナー

4年生対象の基礎体験セミナーです。4年間の大学生活で、自ら選択して取り組んできた基礎体験活動について振り返ります。基礎体験活動の成果や、自己の在り方への影響度などを協議することを通して、自分自身の学修の総括を行います。



## 学生就職・進路情報

これらの情報は、同学年や全国の動向などをふまえ、みなさんの就職支援を行なう上で有益な情報となります。たとえば、あなたの現在の履修状況と進路希望とのより良い組み合せが見発されるかもしれません。また、「未来教師塾」に参加することにより、教員採用試験を受験する県の情報等も把握しやすくなり、教員による様々なアドバイスから就職につなげることができます。

◎学部(大学)行事等 ★Web入力(必須) ■教員採用試験関連

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
卒業研究					◎題目提出締切り(指導教員に提出)					◎口頭試問 ◎卒業演奏試験(音) ◎卒業論文提出 ◎卒業作品提出		
教員採用試験				■願書提出 ◎教師力パワーアップセミナー ◎願書添削セミナー ◎マナーアップセミナー	■一次試験 合格発表	■二次試験 ■講師登録 合格発表			■各教育委員会による合格者研修	■勤務校決定 ■講師採用の連絡		
その他		◎学校教育実習Ⅵ ◎幼稚園教育実習 ◎在学生ガイダンス ◎健康診断 ◎進路希望調査			◎発展期セミナー ◎在学生ガイダンス ◎学修ポートフォリオ(LP)作成説明会 ★LP入力 さらに自分を磨く基礎体験(学校体験を中心) ◎大学院出願(I期)	◎教育職員免許状申請手続 ◎教職実践演習(就職・進路調査) ★LPまとめ ◎1000時間体験学修時間認定締切り ◎大学院出願(II期) ◎大学院入試(I期)			◎卒業式 ◎進路状況調査 ◎大学院入試(II期)			

★教員採用試験・就職活動で変化がある度に就職支援室に報告する。

## ○教員採用試験 先輩からのアドバイス○

- ◆受験する都道府県を早めに決め、出題傾向を分析
- ◆試験問題にはヤマをはらずに、分析結果の範囲をまんべんなく
- ◆二次対策(面接、実技など)も早めに
- ◆提出物は早めに作成、必ずコピー、早めに提出、必ず誰かに読んでもらう
- ◆問題集・参考書はあれこれ手を付けても意味がない、同じものを何回も
- ◆先輩のアドバイス、体験談は何よりも貴重
- ◆自分の試験勉強のリズムを早く見つける(息抜きの時間も必要)
- ◆友達の良いところはどんどん真似して取り入れる(仲間は大切)

## 未来教師塾

### 教員採用試験対策

#### 〈教師力パワーアップセミナー〉

- ◎主に面接(集団・個人)、集団討論の練習をします。
- ◎教育学部の教員や学外の教育関係に携わっている方が面接官をしてくださいます。ここでのアドバイスはとても重要です。

#### 〈就職支援室〉

- ◎各都道府県の教員採用試験動向情報を提供
- ◎その他の就職相談

#### 〈その他〉

- ◎願書添削セミナー、マナーアップセミナー等の開催



# 卒業生の声

卒業を前に大学生活、学習等で思い出に残ったことや、後輩への言葉などを寄せていただきました。

## 将来につながる大学での学び

初等教育開発専攻 佐々木結香



島根大学で過ごしてきた4年間を振り返ってみると、様々なことを学んだり課題を乗り越えたりすることができたのは、たくさんの人との関わりや周りの友だち・先生方・先輩などの支えがあったからこそだと感じます。小学校の教員になることを目指して、日々の講義や教育実習、1000時間体験学修、教員採用試験に向けての勉強などに取り組んできました。大変なときもありましたが、とても充実した大学生活だったと思います。

そんな4年間の中で特に印象に残っている活動は、「1000時間体験学修」です。私自身、島根大学に入学したときから1000時間体験学修に興味をもっており、1年生のころから積極的に様々な活動に参加していました。特に、三瓶青少年交流の家での活動に多く参加し、子どもたちが参加するイベントや1週間かけて行うキャンプのサポートスタッフとして活動をしました。他にも、地域の小学校の学習支援活動に参加して学校現場での経験を積むようにしていました。このような1000時間体験学修の活動を通して、同じ活動に参加した学生、施設のスタッフの方々や地域の方々、保護者の方々、そして子どもたちとたくさん関わることができました。楽しいことばかりではありませんでしたが、学生同士やスタッフの方々とともに課題を乗り越え活動を最後までやり遂げることで得た力は、私にとっての強みになったと感じています。そして、仲間と協力することの大切さ、自分は周りの人々に支えられていることを強く感じることができました。1000時間体験学修で経験したことは貴重で充実したものであり、自分の将来に活かすことができる大切なものだと思います。

私は、春から島根県で小学校の教員として働きます。島根大学で学んだことをこれから教員として働く場面で積極的に活かし、子どもたちや周りの人々との関わりを大切にする教員を目指したいです。そして、これからも学び成長し続けることを心掛けていきたいと思います。

## 夢を叶えるために

特別支援教育専攻 山中 雅子



入学当初、あまり明確な夢を持っていなかった私が、教師の魅力に気が付き特別支援学校の教師という夢を叶えられたのは、島根大学教育学部ならではの充実した学びがあったからだと感じています。大学で過ごしたこの4年間はあつという間でしたが、たくさんの人に支えてもらしながら、のびのびと自分の夢に向かって学び続けることができました。

特に印象に残っているのは、1000時間体験学修です。1回生の頃から地元である鳥取県の活動に積極的に参加しました。様々な活動を通して、今まで知らなかつた地元の現状や魅力、課題についても理解を深めることができたと思います。また、子どもたちや地域の幅広い年代の方々と関わっていくなかで、コミュニケーションの取り方や信頼関係の築き方を試行錯誤しながらも身に着けることができたと感じています。この1000時間体験学修で得た学びや自分の成長は、今後の人生において大きな糧となりました。

教育実習では、様々な校種の教育実習に行き、授業や教材づくり、学級のまとめ方など苦戦したことがたくさんありました。一方で、どの学校でも、愛情をもって子どもたちと向き合う教師の姿や子どもたちのきらきらとした一生懸命な姿がとても印象に残ったことから、自分もこの子どもたちの成長に携わっていきたいと強く思い、教師を目指すきっかけとなりました。

このような、色々な人との出会いや1000時間体験学修、教育実習といった貴重な経験によって、忙しいですが充実した楽しい4年間となり、自分の成長を感じることができます。

来年度は、鳥取県の特別支援学校の教師として学校現場で働きます。島根大学教育学部で学んだことを生かして、子どもたちからたくさんのパワーをもらいながら、子ども一人一人のありのままの姿を受け止め、共に成長し、学び続けられる教師になりたいと思います。

# 島根大学で得たもの

数学科教育専攻 難波 和史



島根県での4年間の大学生活を振り返ってみると、本当にたくさんの人と触れ合い、支えられてきたなと感じます。教育学部の先生方、「1000時間体験活動」で出会った地域の方々、アルバイト先の仲間や上司、ともに目標に向けて努力し刺激を与えてくれた大学の仲間と過ごした時間は自分にとってかけがえのない時間でした。

特に4年間を振り返って思い出すのは、島根大学教育学部の魅力の一つである「1000時間体験学修」です。小学生とキャンプをしながら山を登ったり、中学生の放課後学習支援をしたり、高校生の勉強や進路の相談を受けたりと、様々な活動に参加しました。このような活動を通して、地域の子どもたちや、その保護者の方々、現場の教員や社会教育施設の方などと出会い、教育実習だけでは経験することのできない貴重な体験をさせていただきました。

また、違う専攻の仲間と一緒に活動する機会があるということも島根大学教育学部の魅力であると私は思います。「1000時間体験学修」は、その多くが主専攻に関係なく参加できます。そのため、自分は高校数学の教員を目指していましたが、違う教科の教員を目指している人や小学校の教員を目指している人、保育士を目指している人など、様々な目標を持つ仲間と共に活動することができました。そこで、自分とは違う「価値観」を持っていました、「子どもの関わり方」や「授業作り」が違っていました。そこで、自分とは違う「価値観」を持っていました、「子どもの関わり方」や「授業作り」が違っていました。そこで、自分とは違う「価値観」を持っていました、「子どもの関わり方」や「授業作り」が違っていました。特に、高等学校の数学の授業に中学校や小学校の授業形態を取り入れることは教員になって挑戦してみたいことの一つです。

私は春から岡山県の高等学校で数学の教員として働きます。初めてのことばかりで、悩むことや失敗することもあると思いますが、島根大学で得た経験を自信に変えて、様々なことに挑戦していきたいと思います。

## 感 謝

理科教育専攻 柴田 侑治



大学4年間は楽しいことばかりではなく、苦しい時期もありました。それでもここまでやってこられたのはたくさん的人に支えられてきたからです。大学に入学させてくれた両親や学びを共にした仲間たち、教育学部の先生方、いろいろな人の支えがあって私は充実した4年間を送ることが出来ました。楽しい思い出を作ることも、苦しい時期を乗り越えるのも一人では限界があると思います。新入生の皆様には、一つ一つの出会いを大切にして充実した大学生活を過ごしていただきたいと思います。

私が教員を目指したのは小学校の時で、その時は小学校教諭を目指していました。しかし高校に入って理科という教科に非常に魅力を感じ、小学校教諭と中学校教諭どちらにしようか悩んでいました。そこで高校の時の担任の先生から紹介されたのが島根大学教育学部です。島根大学教育学部では複数の免許を取得しやすいカリキュラムとなっています。私は中学校理科の免許と小学校の免許、計2枚の免許を取得しました。友だちの中には免許を3枚取得した人もいます。実際に働いてみて他校種・他教科の教員になりたいと思うことがあるかもしれません。将来の選択肢を増やすという意味でも、他校種・他教科の教員を少しでも考えている人は是非、挑戦してください。

4月から私の地元である長崎県の中学校で理科の教員として働きます。校種は違いますが小学校のころからの教員になるという夢が叶えられた嬉しさと同時に不安もあります。最初はわからないことが多いと思いますが、周りの方々のご助力をいただきながら、これまでの人生で得た知識や経験を生かして教員生活を謳歌していきたいと思います。

# 後援会活動の概要

## 1. 学生教育活動の支援

- ①1000時間体験学修、面接道場、教師力パワーアップ  
セミナーなど学生教育活動事業経費への助成
- ②学生の体験活動等の交通費補助(全学年)
- ③学生の学会発表等の交通費補助
- ④貸出用ノートパソコン等の整備



基礎体験活動  
(1000時間体験学修)

## 2. 教育実習の支援

- ①教育実習を充実させるため、実習受入校の実習経費への助成(学生が実習で使用する文房具や教材等への助成)



教育実習



## 3. 就職活動の支援

- ①教員志望学生の援助  
教員採用試験に向けての対策と指導に関する経費への助成
- ②就職支援室の書籍整備等への助成
- ③企業志望学生の支援  
就職ガイダンスを開催し、企業就職関連の各種セミナー等を行なう経費の助成
- ④4年生の就職活動の交通費補助
- ⑤教員採用試験の模擬試験の受験料補助

## 4. 国際交流活動の支援

- ①テキサス大学、ミシガン大学、ヴァージニア・コモンウェルス大学学生との交流活動への助成

## 5. 教育環境整備の支援

- ①構内の教育環境の改善を図り、学生の生活環境の向上及び充実のための施設整備経費への助成(トイレ内整備、玄関の花壇整備など)



正面入口前広場の花や観葉樹

## 6. 広報事業の実施

後援会事業活動報告及び学部の教育・研究活動並びに学生生活の様子等をお知らせするための後援会「機関誌」を発行

## 7. 課外活動の支援

在学中における各種部活動、大学祭、寮祭、中四国大学学生競技大会参加等の活動費への助成

令和5年度

## 教育学部後援会役員名簿

地区	氏名	在学年	学生氏名	役職
西伯郡	内田 浩文	4年	内田 有香	会長
松江市	有富 務	4年	有富 和生	副会長
雲南市	岡田 亜輝	4年	岡田 郁実	幹事
出雲市	勝田 香里	4年	高木 拓哉	幹事
安来市	青木 朱美	3年	青木 水輝	監事
出雲市	内藤 正和	3年	内藤 綾香	副会長
出雲市	岩崎 ひとみ	3年	岩崎 萌香	幹事
松江市	柳浦 礼子	3年	柳浦 駿太朗	幹事
米子市	山下 英	2年	山下 拓海	会計幹事
出雲市	山本 薫	2年	山本 俊介	監事
松江市	伊豫 宣行	2年	伊豫 瑛宣	幹事
松江市	三井 卓也	2年	三井 曜咲子	幹事
安来市	秋月 弘司	1年	秋月 菜々子	幹事
松江市	高橋 一成	1年	高橋 朋希	幹事
飯南町	本間 康浩	1年	本間 大介	幹事
松江市	松浦 亮	1年	松浦 叶夢	幹事

(順不同、敬称略)

# 学生支援事業のお知らせ

教育学部後援会

2023年度の後援会学生支援事業として、下記のとおり実施します。

会員学生（保護者が後援会会員である学生）への補助となります。会員学生の方は遠慮なく申請してください。また、未入会の場合は、期限なく受け付けていますので、ぜひご入会ください。

## 全学年・院生対象

◆介護等体験、1000時間体験（基礎体験活動等）、実習セメスターでの学校体験活動、実習等に伴う交通費を補助します。

**【5,000円まで（年間）】（松江市内でも補助）**

## 3・4年生、院生対象

◆教員採用試験模擬試験の受験料を補助します。

**【5,000円まで】（生協等で実施している模擬試験を対象）**

◆就職活動（教員等採用試験の受験を含む）の交通費を補助します。

**【10,000円まで】**

## 全学年・院生対象

◆学会発表等の交通費を補助します。

**【10,000円まで】**

○問合せ・申請先：松江地区学部等事務部総務課（教育学部後援会担当）  
(法文学部棟1階 112室)

TEL : 0852-32-6253

E-mail : [edu-jimu@office.shimane-u.ac.jp](mailto:edu-jimu@office.shimane-u.ac.jp)

○発行 島根大学教育学部後援会

E-mail [edu-jimu@office.shimane-u.ac.jp](mailto:edu-jimu@office.shimane-u.ac.jp)

ホームページURL <https://www.edu.shimane-u.ac.jp/edu/koenkai.html>

○発行日 令和5年10月1日

○発行所 島根大学教育学部後援会事務局

○所在地 〒690-8504 松江市西川津町1060  
TEL (0852-32-6253)  
FAX (0852-32-6125)

○印刷 明和印刷有限会社